

観光スポット～シーン多彩なまち西宮



● 蓬莱峡

山口町船坂にあり、自然が何十万年もかけて作り上げた花こう岩の“大彫刻”です。大剣、小剣、びょうぶ岩と呼ばれる大小の奇岩が乱立し、日が昇るにつれ光と陰のコントラストが鮮やかです。瀬戸内海国立公園の一部になっています。



● 丸山貯水池

船坂川を丸山と畑山の間でせき止めて作った、北部地域にある人造湖です。総貯水量約240万m³の貯水池で、湖の周りには桜の木やベンチなどを配し、春の桜、秋の紅葉が湖面に映えます。



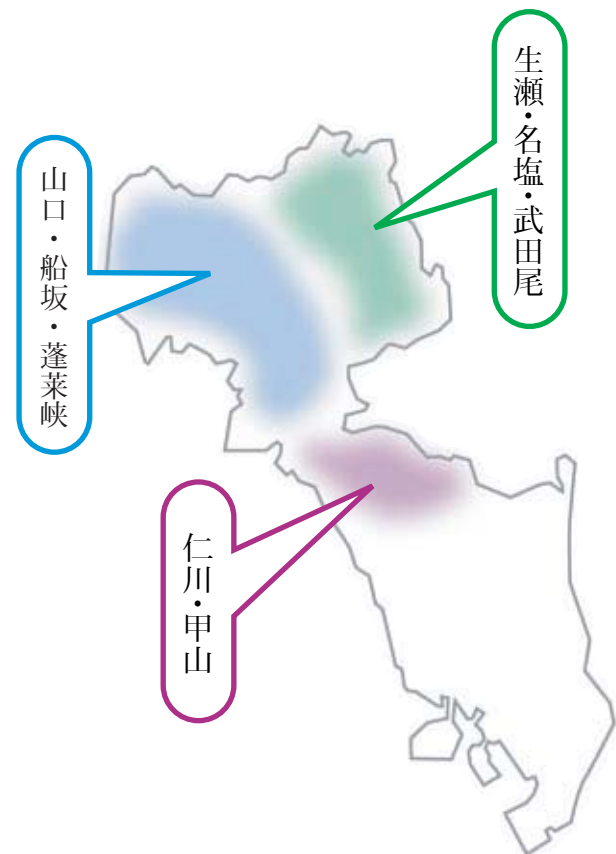
● 浄橋寺

塩瀬町生瀬にあり、鎌倉時代の創建といわれている格式のあるお寺です。本尊の「阿弥陀如来像」と両脇侍像、寺鐘など貴重な寺宝や文書が数多くあります。武庫川上流の生瀬橋も、寺の開祖の教えで架けられたと伝えられています。



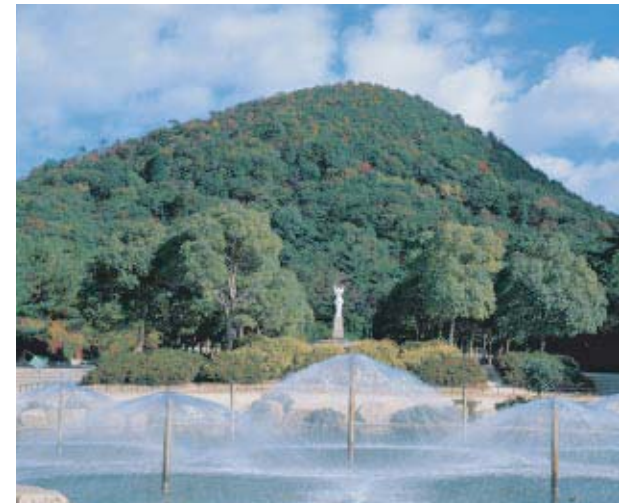
● 武田尾温泉

武庫川の清流に沿って静かなたずまいをみせる武田尾温泉は、JR福知山線の武田尾駅の少し上流にあります。江戸時代に名塩の武田尾直蔵が発見したとの言い伝えがあり、四季折々に変化する自然は、まさに西宮の奥座敷にふさわしいところです。



● 公智神社

祭神は木の神様といわれる久々能智命で、境内にあるシイやウラジロガシの大木は市の天然記念物に指定されています。また、市の重要文化財に指定されている神輿殿は、仏教建築の特色が見られ、神仏習合の名残を示すものとして注目されています。



● 甲山森林公園

甲山の山ろくに広がり、約83ヘクタールにもおよぶ森林公園。兵庫県政100周年を記念して昭和45年(1970年)にオープン。野鳥と新鮮な空気がいっぱい、森林浴にも最適です。



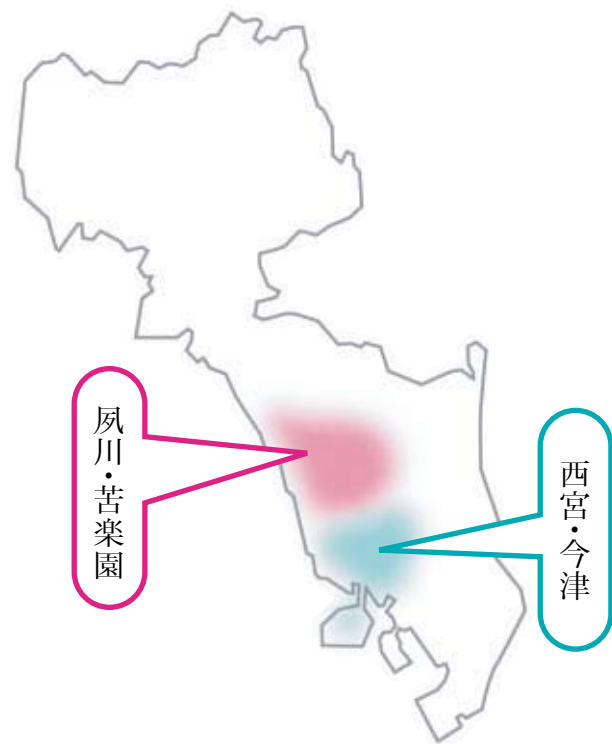
● 神呪寺

甲山のふもとにある古寺で、ここから市街地も一望でき、ハイキングコースにも、名を連ねます。本尊の「如意輪観音坐像」は、日本三如意輪観音の一つで、国指定の重要文化財です。毎年5月18日だけ公開されます。



● 夙川公園

約2.7kmの川の両岸を桜と松の並木が続き、緑のオアシスとして市民に親しまれています。春の桜、秋の紅葉も美しい、阪神間有数の名所です。木々の間から見え隠れする甲山の遠望が趣を添えます。平成2年(1990年)に『日本さくら名所100選』に選ばれました。



● 西宮市大谷記念美術館

絵本原画展などユニークな美術活動で遠方からの来館者も多い美術館です。故・大谷竹次郎氏から土地、建物、美術品の寄贈を受け、昭和47年(1972年)に開館しました。美しい庭園と落ち着いた雰囲気は、心和む美の殿堂として、市民から親しまれています。



● 酒ミュージアム

故・笹部新太郎氏の「西宮市笹部さくらコレクション」などを展示する記念館に加え、平成10年(1998年)に明治の酒蔵「酒ミュージアム」がオープンしました。酒蔵館では「釜場」や「槽場(ふなば)」跡も発掘され、公開されています。



● 越木岩神社

苦楽園の高台にあり、西宮神社と同じ蛭子命をおまつりしています。境内をおおうヒメズリハの群落は県の天然記念物、おかげ踊り図絵馬は市の指定文化財です。高さ10メートルの甕岩は、女性の守り神として有名です。



● 西宮砲台

香櫨園浜にある石造円筒形の砲台です。黒船の来航に備える勝海舟の建議によって、江戸幕府が慶応元年(1866年)に建造しましたが、間もなく明治維新になり、実際には使われませんでした。国指定の史跡です。



● 西宮大橋とヨットハーバー

堀江謙一さんが昭和37年(1962年)、太平洋ひとりぼっちの航海へ出発した港として有名な関西有数のヨットハーバーです。西宮大橋は市街地と西宮浜を全長590メートルで結んでいます。平成7年(1995年)には西宮浜4丁目に新西宮ヨットハーバーが完成し、新名所となっています。



● 香櫨園浜

阪神間に残る貴重な砂浜です。休日には、水遊びやジョギングを楽しむ人々などでにぎわいます。浅瀬に羽を休める野鳥や貝、カニ、魚、海草などが生息する自然の宝庫です。



● 広田神社

神明造りと呼ばれる建築様式の美しさがひととき目を引く広田神社は、古い歴史をもつ由緒ある神社の一つです。境内に自生しているコバノミツバツツジは、毎年、春に美しい花を咲かせ、県の天然記念物に指定されています。



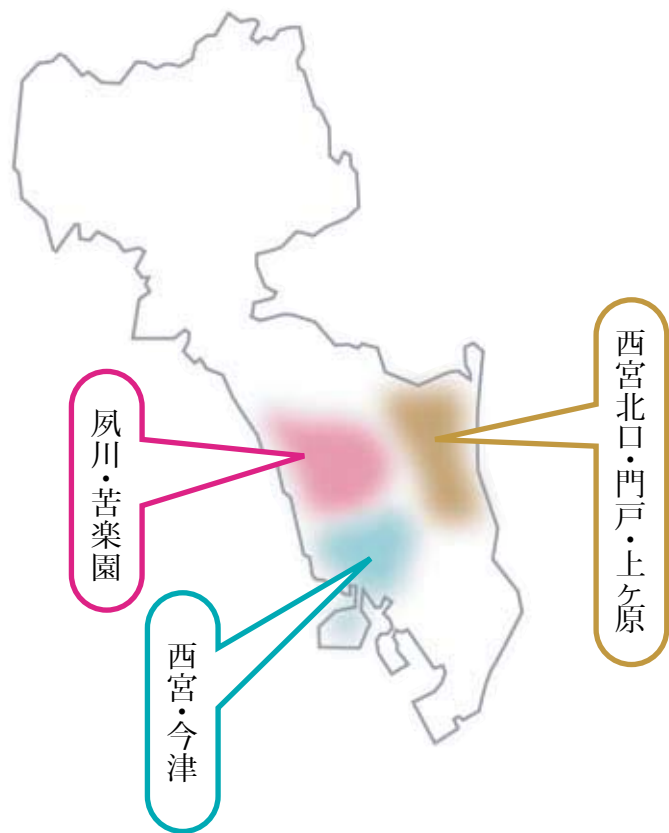
● 門戸厄神(東光寺)

日本三体厄神の一つで、1月18・19日の初厄神には多くの人が、42段の男厄の坂、33段の女厄の坂を登り厄除などの願をかけます。本堂には薬師如来がまつられています。



● 甲東梅林

甲東公民館の庭にあり、阪神間では数少ない梅の名所です。白玉梅、白加賀、養老、黒梅など39品種、約200本あります。毎年2月中旬から3月に開かれる“梅びらぎ”行事には、多くの人が訪れます。



● 桜の満池谷

春ともなると、満池谷墓地周辺では、約600本の桜が宴を繰り広げます。シーズンに開放される越水浄水場は、大阪の造幣局にも負けないほど品種が多く、西宮の「通り抜け」として親しまれています。



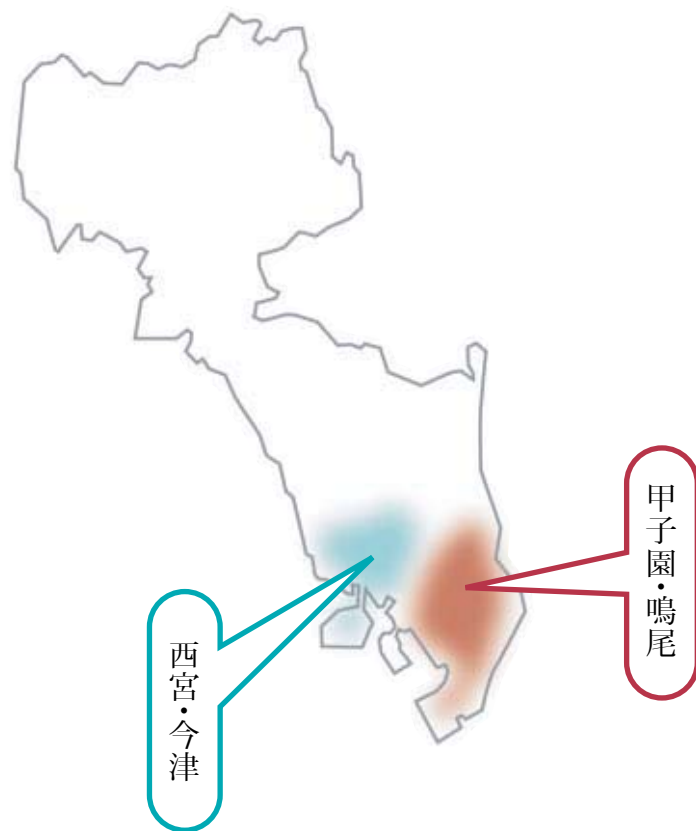
● 西宮神社

商売繁盛、福を招く神様「えべっさん」の総本家で、1月の十日戎には100万人を超える人出でにぎわいます。境内をめぐる土塀、表大門など国や県、市が指定する文化財も多くあります。



● 武庫川サイクリングロード

武庫川の松並木に沿って、一里山町から東鳴尾町までの河川敷、全長7.1kmにおよぶサイクリング道路です。休日には“全線青信号のフリーウェイ”は、家族づれでにぎわいます。ジョギングコースもあります。



●今津灯台

今津港のシンボルとして親しまれているとうろろの形をした木造の灯台です。江戸後期の文化7年(1810年)の建設です。供用しているものでは日本最古の灯台として今津港に鎮座し、今でも現役でその役目を立派に果たしています。市指定文化財です。



●甲子園球場

大正13年(1924年)にできた球場は、阪神タイガースのホームグラウンドのほか、全国高校球児のあこがれの舞台です。甲子(きのえね)の年にできたので、甲子園と名づけられました。毎年秋に、市立小・中学校の連合体育大会が開かれ、“宮っ子”にも身近な球場です。